20221018 13:00-17:00

第1講(13:00-13:50)

CUI/GUIとは

- UI(User Interface): 人がコンピュータを操作する/コンピュータが人に情報を見せる仕組み
 GUI: Graphical UI, デスクトップ上に表示されているボタンやアイコンをマウスでクリックして操作するイメージ
 CUI: Character UI, ターミナル(端末)と呼ばれるソフトウェア上でキーボードからcommandを入力して操作

command 書式

\$ command [option] [引数]

- 行頭の"\$"はプロンプトといい、コマンド入力可能であることを表示している。
- []は省略可能
- 行頭, 行末およびcommand, option, 引数の間にはいくつ空白を置いてもよい.
- option:機能切替え
- 引数:commandの処理対象

第2講(14:00-14:50): FILE/DIRECTORYの操作

- file・directoryは階層構造で配置されている
 特定のfile・directoryの位置は絶対パス又は 相対パスで指定する
- 相対パスではcurrent directory (=現在の作業位置)を起点とする
 login直後のcurrent directoryはuserごとのhome directoryである

pwdコマンド

Print Working Directoryの意味. current directoryの確認に使用.

\$ pwd

出力例

/home/tom

mkdirコマンド

make directoryの意味. 指定名のdirectoryを作る.

\$ mkdir HIGO

\$ mkdir HIGO/class2

"HIGO"という名前のdirectoryを/home/tom上に作製 (/home/tom/HIGO). これは相対パス指定の例 mkdir /home/tom/HIGO というように絶対パス指定でもOK mkdir ^/HIGO とも書ける.""はhome directoryに置換される 因みに"#"以下は行末までコメント(コマンドの一部でない)として扱われる "HIGO" directory配に"class2" directoryを作制 mkdir -p HIGO/class2 という風に-pオプションを使えば HIGO directoryが存在しなくても両方のdirectoryを一度 に作製することができる.

cdコマンド

Change Directoryの意味. Current directoryの移動に使用.

\$ cd HIGO/class2

/home/tom/HIGO/class2

"..."は一つ上のdirectoryの意味 \$ cd \$ pwd

/home/tom/HIGO

\$ cd \$ pwd # 引数が無指定の場合はhome directoryに移動

/home/tom

```
$ cd -
$ pwd
                            # 直前のcurrent directoryに移動する
   /home/tom/HIGO
   $ cd ~/HIGO/class2
$ pwd
                           # 当然、絶対パスでも指定可能
   /home/tom/HIGO/class2
lsコマンド
listの意味. あるdirectory内のfileやdirectoryの一覧を表示する.
   $ ls ~
                # 引数で指定したdirectory(=ここではhome directory)のfile/directoryの一覧表示
               # "."から始まるfile・directory名のもの、Ma
# 詳細表示
# -a オプションと -l オプション の両方を指定した場合
# ls -a -l ~ と書いても同じ
# ls -l -a ~ と書いても同じ
# ls -la ~ と書いても同じ
# current directoryのfile・directory一覧表示
                    "から始まるfile・directory名のもの(隠しファイル)も表示
   $ Is
lessコマンド
file内容を表示する(別画面に遷移する/qとタイプすると終了)
   $ less ~/. bashrc
catコマンド
```

file内容を表示する

\$ cat ~/. bashrc

file内容を連結(Catenation)表示する

```
″aaa″という内容のファイルfile1を作製
″bbb″という内容のファイルfile2を作製
file1 file2の順でファイル内容を連結した
file3を作製
$ echo aaa > file1
$ echo bbb > file2
$ cat file1 file2 > file3
$ cat file3
```

aaa bbb

cpコマンド

Copyの意味. file・directoryを複製する.

```
$ cp file3 file4
$ cat file4
                          # file3をfile4という名前で複製
aaa
bbb
```

```
$ cp -r . ../class2_copy
                              # directoryを複製するときは-r オプションが必要
# "."はこのdirectoryの意味
$ ls ../class2_copy
```

file1 file2 file3 file4

mvコマンド

```
$ cp file4 file5
   file1 file2 file3 file4 file5
   $ mv file5 ../class2_copy
$ ls
   file1 file2 file3 file4
   $ ls ../class2_copy
   file1 file2 file3 file4 file5
ファイル名を変更する
   $ mv file4 file_4
$ ls
   file1 file2 file3 file_4
   $ mv file1 file_4
$ cat file_4
                           # 移動先をすでに存在するファイル名を指定した場合
rmコマンド
removeの意味. file・directoryの削除.
  $ rm file_4
$ ls
   file2 file3
   $ rm -r ../class2_copy
$ ls ..
                          # directoryを削除する際は-r オプションをつける.
   class2
第3講(15:00-15:50)
まずは準備
   $ mkdir ~/HIGO/class3
$ cd ~/HIGO/class3
commandの入出力
  標準入力: キーボード (default)標準出力: 端末画面 (default)標準エラー出力: 端末画面 (default)
入力元・出力先の切替え (=リダイレクト)
command実行結果の出力先を標準出力からFILEにリダイレクト
```

\$ command > FILE

\$ seq 5 \$ seq 1 5 \$ seq 5 10 \$ seq -w 10 # 実行例を示す前に # seqコマンドの挙動を確認 # #

実行例

\$ seq 3 > file \$ cat file \$ seq 4 6 > file \$ cat file ">"だと元々のファイル内容は一旦空になることに注意.ファイル末尾にデータを新たに追加したい場合は**追記リダイレクト">>"**を使う \$ seq 3 > file \$ seq 4 6 >> file \$ cat file \$1 2 3 4 5 6 command実行時の**標準エラー出力**をFILEにリダイレクト \$ command 2> FILE # 2と>の間に空白がないように 実行例 \$ cat file1 # 例えば存在しないファイルfile1を指定した場合 ls: 'file1'にアクセスできません: そのようなファイルやディレクトリはありません \$ cat file1 2> file
cat file ls: 'file1'にアクセスできません: そのようなファイルやディレクトリはありません 入力元・出力先の切替えによるcommand同士の連携 (=パイプ) \$ command1 | command2 # command1の標準出力をcommand2の標準入力に接続 実行例 \$ seq 3 > file
\$ tac file # tacコマンドはファイル内容を逆順に出力する. \$ seq 3 | tac 変数

"atgc"という文字列を変数originalに代入. "="の前後に空白を含まぬよう!! # 変数originalの内容を参照 \$ original=atgc
\$ echo \$original

コマンド置換: "\$(command)"

\$ echo \$original | rev

revコマンドは行内を逆順出力

cgta

reverse=\$(echo \$original | rev) echo ORIGINAL_SEQ is \$original echo REVERSE_SEQ is \$reverse

ORIGINAL_SEQ is atgc REVERSE_SEQQ is cgta

TEXT editor

\$ vim hoge

"hoge"という名前のファイルをvimで編集する.

今回はVIMというTEXT editorを用いてファイルを編集する. text editorはMS wordのように文書(プログラム)を書くものだが、 MS wordのように文書を装飾する機能(太字、斜体、フォント変更など)はない. プログラムを書くために便利な機能が多くある。

VIMにはノーマルモードとインサートモードがある(他のモードも多くあるがここでは省略).

- i (ノーマルモード時): インサートモードに移行.Esc (インサートモード時): インサートモードに移行.

- dd (ノーマルモード時): 行削除(delete).
 yy (ノーマルモード時): 行コピー(yank).
 p (ノーマルモード時): 貼り付け(paste).

- p (ノーマルモード時): 知り日初 (paster).
 u (ノーマルモード時): 元に戻す(undo).
 :w (ノーマルモード時): ファイルを(上書き)保存.
 :wq (ノーマルモード時): ファイルを(上書き)保存して終了.
 :q! (ノーマルモード時): ファイルに変更点を保存せずに終了.

script作製

一連の作業内容をファイルに保存し、一つのコマンドとして再利用したい場合など.

- 1. scriptファイルを作製する.
- 2.
- そのファイルに実行権限を付与する. そのファイルをPATHの通ったdirectory下に配置する.
- 1. script作製

\$ vim reverse_seq

~/HIGO/class3/reverse_seq

#!/bin/sh

reverse=\$(echo \$original | rev)

echo \$original \$reverse

文頭の"#!/bin/sh"をシバンという. 一種のおまじないとして覚えておくように. \$1や\$2は位置パラメータという. reverse_seq seq1 atgc としてこのコマンドを使用した場合、\$1=seq, \$2=atgcとなる.

2. 実行権限を付与する.

"chomd +x"によりコマンドとして実行可能なファイルとなる \$ chmod +x reverse_seq

3. PATHを通す.

\$ echo \$PATH

PATHは組込変数 # ":"区切り、コマンド用directoryへのパスの一覧 # これらのdirectory内のファイル名はそのままコマンド名として認識される.

\$ vim ~/.profile

PATH変数は通常~/.profile内で定義されている.

ファイル内のPATHの記載部分を PATH=**~/bin:**/usr/local/sbin:/usr/local/bin:/usr/sbin:/usr/bin:/sbin などのように書き換えて 自分の作ったコマンドを入れるdirectory(~/bin)をPATHの先頭に追加.

\$. ~/.profile \$ echo \$PATH

". "コマンドを用いて変更内容を反映させる.

/home/tom/bin:/usr/local/sbin:/usr/local/bin:/usr/sbin:/usr/bin:/sbin

\$ mkdir ~/bin
\$ mv reverse_seq ~/bin

\$ reverse_seq seq_id_1 atacgtag

存在しないなら作製. # soriptをPATHの通った~/binに移動. # これでコマンドとして使用できるはずだから... # 確認!!

seq_id_1 atacgtag gatgcata

練習問題

上と同様の引数を与えたときに以下を出力するコマンド"reverse_seq_2"を作製せよ. seq_id_1_original atacgtag seq_id_1_reverse gatgcata

第4講(16:00-16:50): FILTER

trコマンド

wcコマンド

grepコマンド

sedコマンド

sortコマンド

headコマンド

tailコマンド

while read文

20221019

第5講(13:00-13:50)

gzip

tar

curl

wget

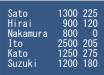
第6講(14:00-14:50): AWK

\$ cat employees

全従業員の月額給料データ

1:名前 2:時給(円/hr)

3: 労働時間 (hr/month)



問題

- [1] ゼロ時間より多く働いた従業員の名前と賃金は?
- [2] 働かなかった従業員の名前は?

[3]

ANSWER

[1]

\$ cat data | awk '\$3>0{print \$1, \$2*\$3}'

[2]

\$ cat data | awk '\$3==0{print \$1}'

第7講(15:00-15:50): SCRIPTの作製

tm

reverse complement

第8講(16:00-16:50): RNA-seq